

池田町立高瀬中学校



(1) 学級数 11学級

(2) 児童・生徒数 203名

(3) 職員数 33名

(4) 学校紹介

高瀬中学校は、昭和28年（1953年）に開校し、今年度で74年目を迎える。学校教育目標を「自ら拓き共に生きる」とし、目指す生徒像「池田町の15歳の全ての生徒に求める姿」を「自分で考え、決めて、どんどんチャレンジ」「自分の思いや生き方を問い続ける」「地域の自然・文化・人などに関心を持ち、積極的に関わる」「多くの人と出会い、つながり、違いを楽しむ」としている。池田町では、令和2年に「信州池田町学びの郷保小中15年プラン」が示され、町内の保小中の職員が合同で研修を行いながら、15歳までの子どもたちの学びを切れ目なくつないでいくことを目指している。

(5) 日常的な情報機器の活用

○学校生活のあらゆる場面において、Chromebookを活用している。また、池田町では、日本初の自治体・教育機関向け導入事例として、デザインプラットフォーム「Canva」の教育版（Canva for Education）が導入された。



Canvaで作成したレポート

現在、町内の小中学校で有効活用されている。

<授業における活用の例>

美術科の粘土でアバターを制作する授業では、作品の完成イメージをつかむためにCanvaの生成AIを使用している。これにより、アイデアデザインや絵を描くことに抵抗感をもっている生徒も、作品をよりよくしようと工夫する姿が多く見られた。



生徒が生成AIで考えた「作品のイメージ図」と実際の作品

保健の授業では、生活習慣が将来の健康に直結することを学ぶため、診断シートを導入している。数値を入力するだけで現状が可視化されるため、生徒が健康を身近に感じる機会となっている。

1	【健康の成り立ち】クイズ診断シート（中学1年生向け）		
2	診断方法：各質問に対して、あてはまる数字（4〜1）を「入力」欄に入力してください。		
3	4. とてもあてはまる / 3. まあまああてはまる / 2. あまりあてはまらない / 1. ぜんぜんあてはまらない		
4	分類	項目	入力(数字4〜1)
5	主観的要因(自分の行動)	問1 毎日、夜10時までに寝て、スッキリ起きられている？	アドバイス 眠れない！成長ホルモンがバッドに働くよ！
6	主観的要因(自分の行動)	問2 朝・昼・晩、3食しっかり食べている？（朝食抜きはNG）	朝食抜きはホルモンの分泌と関係し、明日の朝はバテバテはままだよ！
7	主観的要因(自分の行動)	問3 部活や普段の生活で、毎日しっかり体を動かしている？	カチカチの身体はバネが壊れるよ！
8	主観的要因(自分の行動)	問4 外から帰ったら、手洗い・うがいを必ずしている？	洗濯物やタオルを乾燥させておくといいよ！
9	環境的要因(まわりの環境)	問5 自分の部屋や教室は、明るさや温度・換気がよい？	窓を開けるとよく眠れるから、休み時間に換気をしよう！
10	環境的要因(まわりの環境)	問6 スマホやゲームを見る時間は、自分でルールを決めて守れている？	スマホの画面を長時間見るのは目に悪いよ！
11	環境的要因(まわりの環境)	問7 学校や家で、悩みやストレスを相談できる人がいる？	悩みを相談すると楽になるよ！
12	環境的要因(まわりの環境)	問8 ウイルスや花粉、動物のしずなどから身を守る工夫をしている？	まわりの環境に気を配ると、自分でも対策できるよ！
13	合計点	24	
14	診断結果	24	
15	診断結果	24	
16	診断結果	24	
17	診断結果	24	
18	診断結果	24	

生徒によって入力された「健康診断シート」

<生徒会活動における活用の例>

生徒会活動では、顧問や生徒同士で活動内容を共有できるように「生徒会の共有ドライブ」を活用している。各委員会の時間には、委員長、副委員長によって運営されているClassroomを活用し、生徒は必要に応じていつでも活動内容を閲覧することができる。

(6) 課題等

ICT機器を日常的に活用する生活が、もはや定着している。それにより、活動の選択肢が広がったり、充実度が増してきたりしていると実感する場面は多い。一方で、「機器活用の目的を明確にもてるような活動のあり方」や、「学習効果を高める活用方法」の研修の必要性も感じられる。